



文化八未年
 高家津由緒書
 ホトヲワ

小湊
 二

特別
 又4
 4616
 14



4616
14

十月二十六日

水野田備書

二

興津氏



本多
坂口

鳥居
鳥居

鳥居
鳥居

長

長見

長見

小侯

長本

小池

大塚

小山田

大森

大橋

大谷

折井

小畑

大塚

長田

小原

一武平十一年古初中以寬政八年二月三日
七年制之商札付也

又代目

中多孫以古清利

一初依初在古市より父孫以古孫以古
一忠實孫以古天照二年二月十日
百出以信守兼役、修付以古
年久以信二十一年以信
辰年以信又、辰年以信
改名以古天照八年、辰年以信
以信以初年以古初力以古
以信以初、修付以信二十七年以信
乃七年古初中以古辰年以信
一因以信寬政八年二月十日
百七十名、以信以古初力以古
合二十名、以信以古初力以古
以信二十九年二月十日

143

一因以信寬政八年二月十日

一因以信寬政八年二月十日

一因以信寬政八年二月十日

一因以信寬政八年二月十日

一因以信寬政八年二月十日

文化八年庚申二月十日

津田右内友

一尚武代文化元正年四月廿九日意安改在信

六代目

和久井忠孝通

一孝通父孝通高子父山高在則熱信高子高

忠實源武代高祖之孫高年六月廿日父山高

高祖高子信高忠孝高子高子高子高子高

忠孝子高子信高忠孝二十八日高子高子高

一右尚武代文化元正年九月十日高同高子高

高子高

一尚武代右日之丙寅年六月廿九日高子高

信高子高子高子高子高子高子高子高子高

高子高

一右尚武代右日之戊辰年十月廿九日高子高

高子高子高子高

六代目

和久井忠孝通

一右尚武代右日之庚辰年十月廿九日高子高

高子高子高子高

145

尚武代文化元正年十月廿九日高子高

高子高子高子高子高子高子高子高子高

高子高子高子高子高子高子高子高子高

高子高子高子高子高子高子高子高子高

高子高

一右尚武代右日之丙寅年六月廿九日高子高

信高子高子高子高子高子高子高子高子高

一右尚武代右日之己丑年四月廿九日高子高

高子高子高子高子高子高子高子高子高

一右尚武代右日之乙酉年六月廿九日高子高

高子高子高子高子高子高子高子高子高

文化八年 丙寅年二月 和久井忠孝通

尚武二十一年

和久井忠孝通

由浩書 中國書法 初代 口友 初代 直氏

一初代 口友 浩書 口友 浩書 口友 浩書
中法 浩書 口友 浩書 口友 浩書
書 浩書 口友 浩書 口友 浩書

一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
延 浩書 口友 浩書 口友 浩書
修 浩書 口友 浩書 口友 浩書
亦 浩書 口友 浩書 口友 浩書

一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
以 浩書 口友 浩書 口友 浩書
以 浩書 口友 浩書 口友 浩書
一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
修 浩書 口友 浩書 口友 浩書

一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書
一書 浩書 口友 浩書 口友 浩書

一樹德流孫以日七丁丑年九月移日也初之人
修身也初孫孫德之也重是也之也德初之人
也附之也重也初之二十二年

一曰十庚辰年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十一辛巳年八月也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十二壬午年十一月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十三癸未年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十四甲申年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十五乙酉年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十六丙戌年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十七丁亥年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十八戊子年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰十九己丑年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十庚寅年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十一辛卯年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十二壬辰年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十三癸巳年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十四甲午年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

一曰二十五乙未年十二月廿七日也德也初之也重也
也附之二十二年

文化八年庚子二月
南未七午六午
堀江右兵衛

深田右内友

由法書 堀江右兵衛 堀江右内友

初代 堀江右内友 堀江右兵衛

一之有義初名宗隆 堀江右兵衛 堀江右内友
男 堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
行仕所 堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友

堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友

堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友

堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友

堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友
堀江右内友 堀江右兵衛 堀江右内友

下以時年五十七也

一曰以代天啟三年十一月十日醫學業出被
仕以服家 以意云人持持以初持持之包經六
十三人持持之 作持以以時年三十七也

一曰以代天啟文乙巳年二月日

言其為後保出首年也意云法事出用被

修持以以時年五十七也

一曰以代寬政二庚申年二月十日出書之

改以修之修持以以時年六十二也

一曰以代寬政七乙卯年十一月七日

候家 以意云人持持以初持持之包經六

人持持之 修持以以時年六十五也

一曰以代寬政十二庚申年二月十日出書之

長多海出修之 修持以以時年七十七也

一曰以代文化二乙丑年十二月十日

鴻振之 修持以以時年七十六人持持之

10

十人持持以初持持之包經六
業種科以以時年七十也
近家業業出持持以服家 以意云為德持科
之人持持之 修持以以時年七十五也

一曰以代文化二乙巳年十月十日

七十九也

二代目

樋口 乙之益 直

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

一曰以代天啟文乙巳年十一月十日

平井之孫方火門任修仍任分取之修身之孫
美初為之修身之孫出高也其在身日之孫
微修仍任分取之二十八也少在也

一曰以代天服八戊申年平井之孫方火門之
孫出也之修身之孫出也之修身之孫出也
戶表其在歲末年之方針刺修仍任分取
其親身之孫也之修身之孫也之修身之孫也
孫之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也
之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也

一右修仍任分取之孫也之修身之孫也
一云服八戊申年八月九日五年六月廿九日
針刺修仍任分取之孫也又之初為之修身
也之孫也之修身之孫也之修身之孫也
之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也

一曰以代寬政己丑年六月十七日高野上在歲
年之方其孫修仍任分取之修身之孫也

1671

六月十七日之任高野上在歲修仍任分取
入門任之六年之方修仍任分取之修身之孫也
也令七友宛之下重也之修身之孫也

一曰以代寬政己甲寅年十月十日高野初之子
古仕也海是任分取之孫也之修身之孫也
仕分也之修身之孫也之修身之孫也

一曰以代文化元年甲子年二月十日海初曲後
也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也
也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也

一曰以代文化己丑年十二月十日高野初之孫
孫也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也
孫也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也

一曰以代同年十二月十日高野初之孫
孫也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也
孫也之修身之孫也之修身之孫也之修身之孫也

一曰以代文化己酉年四月十日高野初
本是孫修仍任分取之修身之孫也

由緒書

本國醫藥代目
生國委務

官報館書吏守常

一 忠實 櫻木 武勇 乙 甲 午 年 十 二 月 廿 五 日 卒
 別名 勳 勳 入 流 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 德 一 辰 辰 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒

一 右 日 出 武 勇 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒

一 右 日 出 武 勇 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒

一 右 日 出 武 勇 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒

一 右 日 出 武 勇 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒
 乙 酉 年 十 月 廿 五 日 卒

由緒書 中國之列 考 振官 藏守直

六代同 身振多門守實

一 忠勇振武天保元年甲辰年六月以龍德
而忠孝子若以及 治世中皇德十六人出
此 殿 也

一 右同治代日八戊申年江戶初每 何所也

一 右同治代房政記壬子年二月古以口於
也 氣 治 神 助 之 所 及 也 治 世 治 神 德 皇 德

一 右同治代日十一己未年十二月終日新發開章
何 所 也 治 世 治 神 德 皇 德 十 六 人 出 也 也

一 右同治代文化元年甲子年三月五日在吉信
在 而 門 德 之 所 出 也 二 收 之 也 也

一 右同治代文化元年甲子年三月五日在吉信
何 所 也 治 世 治 神 德 皇 德 十 六 人 出 也 也

六代同 身振多門守實

一 右同治代文化元年甲子年三月五日在吉信
何 所 也 治 世 治 神 德 皇 德 十 六 人 出 也 也

美門皇子是也其在於高皇產靈子孫古儀傳也

一忠實稱世文化元甲子年七月廿五日於海濱而
為^以世^以子^以不^以子^以重^以世^以子^以出^以萬^以也^以 修其
以時^以其^以自^以來^以在^以誠^以

一尚武文化六己年 勇祖系經世門城

一右曰世代同六月四日

一右曰世代同七月庚午年 勇祖初居之修其初居
中繼之其子 修其

一右曰世代同八月庚午年二月十二日於海濱而
表^以其^以反^以 修其

右之^以通^以之^以在^以其^以安^以永^以三^以甲^以午^以年^以十^以月^以廿^以日^以
以^以其^以之^以後^以之^以先^以 以^以代^以其^以至^以其^以中^以以^以上^以

文化八年 庚午年二月 為其世二年 勇祖初居

陳田右月夜

由緒書 ^{中四國} ^{三代之目} 勇祖初居其子

一忠實稱世文化元甲子年七月廿五日於海濱而
年^以其^以身^以之^以在^以其^以國^以之^以初^以居^以出^以用^以 修其
其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以 以^以代^以其^以至^以其^以中^以以^以上^以
表^以其^以之^以後^以之^以先^以

一右曰世代同六月廿五日於海濱而
其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以

一右曰世代同七月庚午年 勇祖初居之修其初居
其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以

其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以

一右曰世代同八月廿五日於海濱而
其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以

其^以初^以居^以之^以後^以之^以先^以

一右同代日九丁巳年九月十七日...
 一右同代日午戌年...
 一右同代日亥巳年...
 一右同代日戌辰年...
 一右同代日巳巳年...

一右同代日八辛未年二月...
 一右同代日巳巳年三月...
 一右同代日巳巳年三月...

津田右内度

1417

由供書 本國後列 鳥見 六代目 見年古也惠迪

一忠費...
 一右同代日亥巳年九月...
 一右同代日七辰年...
 一右同代日六巳巳年六月...
 一右同代日七辰年...
 一右同代日六巳巳年...

一 修竹... 于... 十一... 年

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

本堂... 修竹...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

一 日年... 月... 日... 文... 名... 而... 改... 名... 仕... 女...

乙卯

一 四年八月... 別... 内... 乙卯

一 四年十一月... 乙卯

一 四年十二月... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

一 四年... 乙卯

了方... 恩下... 高宗... 德... 追

内儀... 法... 成... 由... 不... 限... 山... 名... 以... 酒... 并... 伊... 藏... 万... 戶... 毎... 日

一月... 廿... 日... 古... 方... 日... 相... 京... 儀... 補... 之... 不... 出... 某... 一... 般... 令... 冊... 之... 之... 以

右... 之... 通... 以... 在... 在... 元... 安... 永... 三... 甲... 午... 年... 第... 一... 次... 以... 爲... 上... 之... 重... 戶... 以... 以... 上

文化八年六月 尚末六十二年 是 尚末六十二年

津田右内友

由... 供... 書... 神... 國... 後... 尚... 末... 六... 十... 二... 年... 大... 藏... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

又... 代... 日... 大... 藏... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

一... 德... 皇... 之... 御... 代... 天... 位... 之... 御... 年... 十... 二... 月... 十... 五... 日... 御... 所... 御... 拜... 初... 日... 之... 旨... 之... 内... 内... 家... 御... 所... 旨... 之... 内... 儀... 藏... 實

由法書 中國書法之代目 之原何也

一 志身原以代安水也 己未年九月止也

重岳院極出書式也 用野 兼出百 有連也

法事 兼出 以 何 有 劫 中 大 有 以 還 也

也 由 龍 是 以 龍 子 是 也 色 止 出 用 劫 也 何

一 右 同 年 七 月 止 下 為 九 月 又 以 官 原 出 身

之 原 出 也 何 何 何

一 右 同 年 七 月 止 下 長 豐 院 極 之 百 回 出 意

之 有 於 參 別 龍 海 院 出 法 事 方 之 出 也

一 右 同 年 十 月 止 下 山 院 下 出 定 之 原 出 列

也 代 深 之 何 何 長 也 下 出 路 之 後 何 何 何

一 右 同 年 十 月 止 下 海 院 之 何 何 何 何 何

之 原 出 也 何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

出言不吐惟子也此二夜之重也

一右曰出言不吐六丙午年二月十五日於此
出言不吐之修竹百七孫名也如謂之也
合口百之言也 修竹曰十日月滿如判
修竹曰此竹也千也

一曰年也月十日之政在任也
一右曰出言不吐二庚戌年六月十日
出言不吐之修竹也自出而歸之也
收改其法也

一右曰出言不吐六甲寅年十二月十日
修竹也古勸也 出言不吐也
織出黃斗月之也

一右曰出言不吐十戊午年五月十日
出言不吐之修竹也自出而歸也
一曰年七月十日之也 出言不吐也
連也竹也用也

後家 出言不吐也修竹也惟子之也
修竹也

一右曰出言不吐十己未年八月十日
出言不吐也 二男恭孫在也
修竹也 出言不吐也

一右曰出言不吐二壬申年七月十日
修竹也 出言不吐也
修竹也 出言不吐也

一右曰出言不吐之也
出言不吐也 出言不吐也

一右曰年九月十日
出言不吐也 出言不吐也

出言不吐也

二十九卷

- 一尚史代文化記丁卯年十一月十日紀以後
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事

文化八年庚午二月

尚史代文化記

丁卯年七月十日

清田右月度

11
28

由法書

中國被治

大清仁古為之奉

- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事
- 一右日年十二月八日京同新法務省論事
- 一尚史代文化記己卯年七月十日法務省論事

一右曰庚戌天啟二年六月十五日... 作有百七... 歲下... 用人... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年十二月... 前後... 進... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年十二月... 甲... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年十月... 初... 紹... 方... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年二月... 中... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年八月... 左... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年十二月... 年六十...

一右曰庚戌天啟二年... 年六十...

庚戌年

一右曰庚戌天啟二年... 年六十...

一右曰武天昭之癸卯年十二月十日有年次
出考乃馬代身終以出居代以修其法終至
一右曰武天昭年十二月十九日修其法終至
出考乃終之有年

一右曰武天昭甲辰年六月廿六日武天昭
之系 修其法乃大子身終以修其法終至
一右曰武天昭八月十六日大子身終以修其法終至
出考乃終之有年

一右曰武天昭年九月十日修其法終至
一右曰武天昭年十二月十日修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至
一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至
一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

修其法年世後二家

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰武天昭乙巳年七月十日大子身終
修其法終至

一右曰史代同年十一月十日乃為元年以乃德也
一右曰史代文化八年即元年二月十日乃在任任任年
六十八年

又代目

大德福寺前之天

一私後親居於此男也此在任任任任任任任
高財之任退任任任任任任任任任任任任任
至親居於文化六己三年四月十日乃在任任任
任任任任任任任任任任任任任任任任任任

一文化七年庚午年十一月十日乃親居於此男
遠五百名之重之乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一月年十二月終日之在任任任任任任任任任

一文化八年庚午年二月十日乃親居於此男

一在任任任任任任任任任任任任任任任任任

一在任任任任任任任任任任任任任任任任任

一在任任任任任任任任任任任任任任任任任

一在任任任任任任任任任任任任任任任任任

1435

右之通也此在任任任任任任任任任任任任任
此在任任任任任任任任任任任任任任任任任

文化八年庚午年二月十日乃親居於此男
大德福寺前

陳田右内臣

由德書 新國諸法 易見之古為也

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

一 右曰代安永七戌年九月廿七日午時廿一氣

修身於彼地大子初出漢書以修身於朝
于時二十八歲

一右同代寬政九丁巳年十二月十五日於

此處也先子者政及修身於朝中于時年氣

一右同代寬政十一己未年十一月廿

春岳院御出法事之件心光寺代其費用之

修身於朝中于時年五十五

一右同代享和二年庚午江戶勸業之修身於

此處也修川刻於彼地也唐官表其以修身

古朝中于時年十八

一右同代文化二己丑年二月廿七日於此處也

也也習者以彼地也其常事之修身於朝中于

于時六十一

一文化二丙寅年五月十日在京都院御出通書

之件宜也于其向處之修身於朝中于時年五

一為此代文化二戊辰年五月十日於

此處也元年以遠書應在也也修身於朝

也也字之也也也也也也也也也也也也也

重於于時六十四

一為此代文化六己巳年五月十六日在京都院御

之件也修身於彼地也唐官表其以修身於朝

一為此代文化六己巳年六月十日於此處也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

以彼處也也也也也也也也也也也也也也

右之道也也也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也

文化八年庚申二月

為年六十七

為年六十七

修身於朝中

一 修付日六至丑年四月七日
修付日六至丑年四月七日

一 日代寛政八酉年六月
初旬修付日六至丑年四月七日

大代目

大代目

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政八酉年六月

一 日代寛政九丁巳年七月
初旬修付日六至丑年四月七日

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一 日代寛政九丁巳年七月

一文化之丙寅年 馬島嶼出遊去月江戸
 表之志也史之 修什也
 一尚武代文化史長年五月山田府并江
 初編之修什也及年出修之修什在江中
 聖也年二月山田府之修什在江中
 中其日三月十日山田府之修什在江中
 一尚武代文化史己巳年六月十日山田府之修什在江中
 修什也
 一尚武代文化史庚午年七月十日山田府之修什在江中
 修什也
 右之通也其年安永三年年當其
 此代書上之書中其以上

津田右内史

文化八年卯年三月 為末二十四日 大谷金次郎

由借書 本國書 小侯初治所書重
 史代目 少侯治所書良之
 一馬島嶼出遊去月江戸
 初編之修什也及年出修之修什在江中
 大子山田府之修什在江中
 右之通也其年安永三年年當其
 此代書上之書中其以上
 一尚武代文化史庚申年九月十日山田府之修什在江中
 修什也

又代目 小侯初治所書重

一尚武代文化史六月十日山田府之修什在江中
 修什也
 一尚武代文化史己巳年六月十日山田府之修什在江中
 修什也
 一尚武代文化史庚午年六月十日山田府之修什在江中
 修什也

馬術世居先 山名令如

一在自年十月... 山名令如

一文化八年... 山名令如

山名令如... 山名令如

文德八年... 山名令如

山名令如

由浩書 中國尾創 古代目

一忠勇之... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一... 山名令如

一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十一年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事
 一 右同代寛政十二年六月十日
 一 佐吉の長六郎の自記の事

文化八年未年九月 小畑昌吉前

小畑昌吉前

由德書

本國與別小
三行目

德書林氏為海濱

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

之也念之

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

古制也其也念之也念之也念之也念之也

一在德書林氏為海濱之甲午年六月庚申申結

百進中... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在... 仍...

此... 仍...

一在庚戌年十二月五日任前出籍仕任其
之而此之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年八月五日六月十日在江府山出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年十一月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年九月五日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年二月五日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年六月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年六月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年十二月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

一在庚戌年四月十日在江府安馬場出籍
仕任其由念之由也

此書之史記書有述之也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

陰陽篇出精法也

此書之史記書有述之也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一右史代天昭元年二月廿三日也

一在武代同年三月廿五日... 抄事... 是之勤筋也...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

一在武代同年三月廿五日... 勤事...

海源先生仕各事叙以叙之通之修其
一右以代日年十二月十日 以代上麻也下
左與之也

一右以代寬政九年九月十七日 是年子學
也 修其酒井因通而及能下江見其馬修之
修其

一右以代寬政十一年十一月十日 切能家
年免馬湖由新上至任之 上江見其便歷
年之役控原者以之 修其人持持之也
麻江也 修其也 是迄之 切能持持之也
修其

一右以代寬政十二年申年五月 切能家江戶
也 修其

一右以代寬政十二年二月 切能家江戶
也 修其

一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其

一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其
一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其
一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其

一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其
一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其

一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其
一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其

一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其
一右以代享和元年十一月 切能家江戶
也 修其

近々三人持持之者上り振ら 何れ

一右代田年朔陽陽江原也(一) 既之海出
ら 何れ

一右代田高祖之至 宣平十二月十六日 任家出
粘古初之付法之叙也 務之申初科十叙之
版下後而持之者上り 何れ 能付能 能凡
務之申 何れ

一尚代文化記 丁卯年二月 善原山馬御
出替之付申 何れ

一尚代文化七 庚子年三月 古之百 何れ
干の時千 何れ

四代目

小池新又之馬御定

一初版初之者上り 申之者上り 何れ 何れ
四文化之丙寅年六月十日 務古科文
持持之申 馬御 何れ

一尚代右日年八月九日 馬御 務古科 何れ

何れ

史記七 五之申也

一尚代文化八年 申年八月十日 何れ 何れ
七文化初之者上り 申之者上り 何れ 何れ
八代之申 申之者上り 何れ 何れ
九代之申 申之者上り 何れ 何れ
十代之申 申之者上り 何れ 何れ
十一代之申 申之者上り 何れ 何れ
十二代之申 申之者上り 何れ 何れ
十三代之申 申之者上り 何れ 何れ
十四代之申 申之者上り 何れ 何れ
十五代之申 申之者上り 何れ 何れ
十六代之申 申之者上り 何れ 何れ
十七代之申 申之者上り 何れ 何れ
十八代之申 申之者上り 何れ 何れ
十九代之申 申之者上り 何れ 何れ
二十代之申 申之者上り 何れ 何れ

文化八年 申年二月

小池新又之出

津田右内史

由德書 本國編

六代目

六代目 長道

一 本是德源氏天照二宮年八月移居
者以後之任付同文已年以戸勸者之任付
右部中兵衛勸者任政右之長子孫九郎
改名任付

一 同武代官政之長年二月廿八日官東照其
後之任付也任付其年

一 同武代官十二申年二月廿八日官東照其
後之任付也任付其年

一 同武代官和二年四月十九日官東照其
後之任付也任付其年 六十五

一 同武代官文化六年四月廿九日官東照其
後之任付也任付其年

一 右同年二月廿九日官東照其後之任付也
任付其年 七十五

一曰武代七年三月... 先述... 武代...

六代目

大塚岩井長之

一初後父九郎... 武代...

一武代文化... 武代...

一武代... 武代...

武代... 武代...

武代... 武代...

武代... 武代...

武代... 武代...

文化八年... 武代...

大塚岩井

津田右内友

由緒書

武代目

大塚岩井傳法

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

一武代... 武代...

元云仕分修之陽在科接之在丁時八十五

以代目 野田大塚子江村傳光

一右同代目同苗之在苗之是迄之市重之部
高士孫志之人傳光之月而重之部之孫志之人
持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

一右同代目寬政九丁巳年九月十七日定之出馬
也之持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
丁時二十九本

一右同代目享和二年二月廿六日大出馬
段之持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

一右同代目文化二五年十一月廿八日重之部
出馬之持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
一右同代目同年十二月月日開通之孫志之人
以名取馬持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

456

一尚以代文化二丁卯年九月廿七日重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

一右同代目同年十二月十日持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

一右同代目文化八年二月廿七日持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

一右同代目同年同月同日持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部
之孫志之人持持之市重之部之孫志之人持持之市重之部

文化八年同月同日 大塚子江村

持持之市重之部

由緒書

六代目 岩田重古為應澄

- 一 忠孝節義此代安永記乙未年開館時 忠孝節義
- 一 開館初 以久之殿下 以懐内出殿古初也
- 一 右月以代 拜明也七代於古初の政夜任也
- 一 尚此代文化乙酉宮年十二月十九日於初年也
- 一 付湯指也 何れ久干時乙酉二也
- 一 右月以代文化乙酉己酉年九月廿五日在古初任也
- 一 干時乙酉也

七代目 岩田辨彌公田初代為應澄

- 一 初代六代目主古為應澄也古初在古初任
- 一 辨彌公也
- 一 忠孝節義此代天保七丁酉年十月廿日在古初任
- 一 山陰任古初也 乙酉己酉年九月廿五日在古初任
- 一 干時乙酉也
- 一 右月以代天保八戊申年四月廿日在古初任
- 一 後任古初也 乙酉己酉年九月廿五日在古初任

山登後乃了 修竹也

一右同出代官渡之辛丑年宿衛之竹登持出初
弟考之初乃出苑之竹登于初六月之竹登
通也 修竹之源也 修竹也

一右同出代同十一己未年八月移竹出苑
弟考之竹登之竹登之通之竹登 弟出苑及
出苑後乃了 修竹也

一右同出代官初之辛丑年二月止竹登初與
之竹登之竹登也

一右同出代同年六月七日出苑竹登大出苑戶
弟考之竹登之竹登之竹登之竹登之竹登
之竹登之竹登也

一右同出代文化元年七月七日出苑竹登
修竹八人持竹之竹登之竹登之竹登也

一右同出代同之丙寅年四月七日出苑竹登
出苑之竹登之竹登之竹登之竹登也

45

右部也

一右同出代同年十二月十日竹登初七人持竹
之竹登之竹登之竹登也

右部也

一右同出代同大正元年二月十日竹登初
之竹登之竹登之竹登也

右之通也 竹登之竹登之竹登也
出代書之竹登也

文化八年四月二日 湯末平三三
湯田國助

湯田右月夜

由德書 中國甲辰 小山田源振西谷

一 德書原出安永六丙申年七月 十 日 官署所
白德原以 德年之 法之 致死之 官署所

也 德年 干帖之十二百本

一 右曰 德天 德元年 十二月 古 官署所
之 官署所 之 致死之 官署所 之 官署所
也 德年 干帖之十二百本

一 右曰 德天 德元年 十二月 古 官署所
也 德年 干帖之十二百本

一 右曰 德天 德元年 十二月 古 官署所
也 德年 干帖之十二百本

一右曰忠代寛政二年九月廿九日上津殿以
友之修竹是近是向雨子如磨打古初左酒
此右内出磨更以此是收之也
干帖二十九年

一右曰忠代寛政十二年五月廿七日山田守如
之收之也
干帖二十九年

一右曰忠代寛政十二年二月廿七日山田守如
細言如也
干帖二十九年

一右曰忠代文化六年七月十日山田守如
之收之也
干帖二十九年

74 59

六代目 小山田周藏和稿

一忠代寛政二年六月十日山田
所与德佛之也
干帖二十九年

一忠代文化二年十二月十日山田守如
与德佛之也
干帖二十九年

一忠代文化六年五月十日山田守如
与德佛之也
干帖二十九年

一忠代文化六年五月十日山田守如
与德佛之也
干帖二十九年

文化八年五月
小山田周藏和稿

津田右内友

由信書 本國諸州小島留守御下辰

又代月 小島 探政使

一 忠君報國天保己年十月十日

所為山渡初級 何計

一 日十月六日 著加判 何計

一 日戊辰六月十二月 終當山年男 何計

一 日戊辰日七兩年四月十日 何計 出遊見使

何計 右山用惣 何計

一 日戊辰日八申年四月十日 何計 出遊見使

何計 右山用惣 何計

一 日年六月十日 何計 出遊見使

何計 右山用惣 何計

一 日年十月十日 何計 出遊見使

何計 右山用惣 何計

一 日年十月十日 何計 出遊見使

何計 右山用惣 何計

是之故 出之方之 何計也

一曰年十二月廿九日 推江表 年表 出之方之 通也 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也 出之方之 何計也

一曰出代 寬政元年二月十九日 江表 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年六月廿八日 江表 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年十月十日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年十二月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰出代 同六月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年六月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年八月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年十二月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰年十二月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

一曰出代 同九月廿九日 推 出之方之 出服之象 何計也 出之方之 何計也

初より高田操助十人持持之り年々取心
一日此代同文長年九月廿五日迄年同南朝
在為礼心仕家名存絶仕分礼扱代家重初
操長古くは後長古初より長分持別く
男百正の存後世之り分り取島くも後子
古礼分取く 何分々

一日年十月廿九日此分存後世之り分り取島中
古礼分取く 何分々分孫同分南朝古分重初
仕家重初より古礼分取く 何分々

初代

小東富太郎 正長

一日此代文化五年年十月廿九日此分存後世之り
分り取島中 何分々分孫同分南朝古分重初
古礼分取く 何分々分孫同分南朝古分重初
分持取島中 何分々分孫同分南朝古分重初
分持取島中 何分々分孫同分南朝古分重初

一日十月十日分孫同分南朝古分重初
分持取島中 何分々分孫同分南朝古分重初

後中世

一日此代同文長年九月廿五日迄年同南朝
在為礼心仕家名存絶仕分礼扱代家重初
操長古くは後長古初より長分持別く
男百正の存後世之り分り取島くも後子
古礼分取く 何分々

文化八年九月 小東富太郎

澤田右内度

由緒書

乙代目 乙竹昌順日記

一 本堂院縁出安永七戌戌年二月日
出書有之辰之海出依之 修付古初也

一 右同出安永八己亥年十二月十日有申及幕之修
一 右同出安永九庚子年二月十一日上京初

一 右同出安永十辛丑年二月十一日上京初
修付之申在系修申人出持持方之申在

一 同年十月朔修申其丑年六月迄在弟初在
多取迄那仕之辰之海之修付也

一 右同出安永十一己丑年八月十日出進修申
物初之修付也

一 同年九月十日迄年卯辰幕之修付也
依之申在系修申出進之申在

一 右同出安永十二丙午年四月十日 樹種院縁出
五回出安永十三辰出法事申用之修付古初也

一 同年十一月十日迄年辰之修付古初也

重錄合指八人出法持之也

一右曰史代天啟八庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟九己酉年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十一庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十二庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十三庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十四庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十五庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十六庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十七庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十八庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟十九庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟二十庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟二十一庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟二十二庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟二十三庚申年二月廿五日出法持之也

一右曰史代天啟二十四庚申年二月廿五日出法持之也

一尚武代文化之丙寅年二月十日 本堂院禪房
 二十七日常以法事以用之 修持古制也
 一尚武代文化之丁卯年九月二十日 本堂院禪房
 一尚武代文化之戊辰年六月十日 本堂院禪房
 修持古制也
 一尚武代文化之己巳年十月十日 本堂院禪房
 修持古制也
 一文化之丁卯年九月二十日 本堂院禪房
 年延中念之如前之洋紙也
 右之通武代安永之甲午年以前之御
 武代書上之書也

文化八年未年

乙卯年 乙卯年

陸田右月夜

466

由緒書 折井孫七郎節度

一尚武代文化之丙寅年二月十日 本堂院禪房
 二十七日常以法事以用之 修持古制也
 一尚武代文化之丁卯年九月二十日 本堂院禪房
 一尚武代文化之戊辰年六月十日 本堂院禪房
 修持古制也
 一尚武代文化之己巳年十月十日 本堂院禪房
 修持古制也
 一尚武代文化之庚午年六月十日 本堂院禪房
 修持古制也
 一尚武代文化之辛未年二月十日 本堂院禪房
 修持古制也

右之通也

文化八年

折井

折井

折井

1467

由緒書

本國

無津

二代目

無津

一 忠實之稱也代安永元年八月十日
所書形五初左儀 忠實之稱也
此後之儀之也

一 同代同年九月十日 忠實之稱也

一 同代同年十月十日 忠實之稱也

一 同代同年十二月十日 忠實之稱也

一 同代同年六月十日 忠實之稱也

一 同代同年七月十日 忠實之稱也

一曰世代同八己亥年十二月廿百堂同新志初
吉初吉候 出言分 出言 上出候吉候
分下出言

一曰世代同九庚子年二月廿八日候

一曰世代同十庚子年三月廿八日候
一曰世代同十一庚子年四月廿八日候
一曰世代同十二庚子年五月廿八日候
一曰世代同十三庚子年六月廿八日候
一曰世代同十四庚子年七月廿八日候
一曰世代同十五庚子年八月廿八日候
一曰世代同十六庚子年九月廿八日候
一曰世代同十七庚子年十月廿八日候
一曰世代同十八庚子年十一月廿八日候
一曰世代同十九庚子年十二月廿八日候

一曰世代同二十庚子年正月廿八日候
一曰世代同二十一庚子年二月廿八日候
一曰世代同二十二庚子年三月廿八日候
一曰世代同二十三庚子年四月廿八日候
一曰世代同二十四庚子年五月廿八日候
一曰世代同二十五庚子年六月廿八日候
一曰世代同二十六庚子年七月廿八日候
一曰世代同二十七庚子年八月廿八日候
一曰世代同二十八庚子年九月廿八日候
一曰世代同二十九庚子年十月廿八日候
一曰世代同三十庚子年十一月廿八日候
一曰世代同三十一庚子年十二月廿八日候

一曰世代同三十二庚子年正月廿八日候
一曰世代同三十三庚子年二月廿八日候
一曰世代同三十四庚子年三月廿八日候
一曰世代同三十五庚子年四月廿八日候
一曰世代同三十六庚子年五月廿八日候
一曰世代同三十七庚子年六月廿八日候
一曰世代同三十八庚子年七月廿八日候
一曰世代同三十九庚子年八月廿八日候
一曰世代同四十庚子年九月廿八日候
一曰世代同四十一庚子年十月廿八日候
一曰世代同四十二庚子年十一月廿八日候
一曰世代同四十三庚子年十二月廿八日候

一曰世代同四十四庚子年正月廿八日候
一曰世代同四十五庚子年二月廿八日候
一曰世代同四十六庚子年三月廿八日候
一曰世代同四十七庚子年四月廿八日候
一曰世代同四十八庚子年五月廿八日候
一曰世代同四十九庚子年六月廿八日候
一曰世代同五十庚子年七月廿八日候
一曰世代同五十一庚子年八月廿八日候
一曰世代同五十二庚子年九月廿八日候
一曰世代同五十三庚子年十月廿八日候
一曰世代同五十四庚子年十一月廿八日候
一曰世代同五十五庚子年十二月廿八日候

之代目

無子清辨古為教道

一曰世代同五十六庚子年正月廿八日候
一曰世代同五十七庚子年二月廿八日候
一曰世代同五十八庚子年三月廿八日候
一曰世代同五十九庚子年四月廿八日候
一曰世代同六十庚子年五月廿八日候
一曰世代同六十一庚子年六月廿八日候
一曰世代同六十二庚子年七月廿八日候
一曰世代同六十三庚子年八月廿八日候
一曰世代同六十四庚子年九月廿八日候
一曰世代同六十五庚子年十月廿八日候
一曰世代同六十六庚子年十一月廿八日候
一曰世代同六十七庚子年十二月廿八日候

一曰世代同六十八庚子年正月廿八日候
一曰世代同六十九庚子年二月廿八日候
一曰世代同七十庚子年三月廿八日候
一曰世代同七十一庚子年四月廿八日候
一曰世代同七十二庚子年五月廿八日候
一曰世代同七十三庚子年六月廿八日候
一曰世代同七十四庚子年七月廿八日候
一曰世代同七十五庚子年八月廿八日候
一曰世代同七十六庚子年九月廿八日候
一曰世代同七十七庚子年十月廿八日候
一曰世代同七十八庚子年十一月廿八日候
一曰世代同七十九庚子年十二月廿八日候

一曰世代同八十庚子年正月廿八日候
一曰世代同八十一庚子年二月廿八日候
一曰世代同八十二庚子年三月廿八日候
一曰世代同八十三庚子年四月廿八日候
一曰世代同八十四庚子年五月廿八日候
一曰世代同八十五庚子年六月廿八日候
一曰世代同八十六庚子年七月廿八日候
一曰世代同八十七庚子年八月廿八日候
一曰世代同八十八庚子年九月廿八日候
一曰世代同八十九庚子年十月廿八日候
一曰世代同九十庚子年十一月廿八日候
一曰世代同九十一庚子年十二月廿八日候

寛政十二年申年より萬末年迄の事
後二年古初の日

石之通、山石、花安、永三千年、常、改、
先河、代古、徳上、重、甲、以、上

文化八年申年六月
為末二年
無陳川官藏

津田右内度

470

由徳書 抄國書 無回十部 古書

一 初依 初依 初依 初依 初依 初依 初依 初依 初依 初依

長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家 長慶家

庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮 庫部西宮

表上長 表上長 表上長 表上長 表上長 表上長 表上長 表上長 表上長 表上長

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂 本堂

此在... 他... 死... 仕... 爲... 力
... 仕... 死... 仕... 爲... 力
... 仕... 死... 仕... 爲... 力

本... 院... 院... 院... 院...
... 院... 院... 院... 院...
... 院... 院... 院... 院...

一曰... 院... 院... 院...
... 院... 院... 院... 院...

一曰... 院... 院... 院...
... 院... 院... 院... 院...

一曰... 院... 院... 院...
... 院... 院... 院... 院...

由清書 坤國 與 津左 一節 長發

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

一 忠實 蘇州 安永 四乙 未年 十一月 十九日

初 出後定之也 思言以候帝家 此意
 之後出初猶之也
 一曰七丁未年九月十日丙寅年九月廿九日
 出後定之也 仍付出初之也 延一延初也
 一曰出代帝之政元己酉年四月朔日初也
 仍付出初也 仍付出初也 仍付出初也
 七月十日初也 仍付出初也 仍付出初也
 積地之也
 一曰出代曰二年亥年十二月亥日申年
 出後定之也 仍付出初也 仍付出初也
 一曰出代曰十年庚午年七月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代文化之丙寅年十二月廿十日
 出後定之也 仍付出初也 仍付出初也
 下也

一曰出代出皇國之辰也 仍付出初也
 一曰出代曰丁卯年九月廿九日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰十一月十七日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰十二月廿九日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰正月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰二月二十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰三月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰四月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰五月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰六月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰七月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰八月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰九月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰十月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰十一月十日初也
 仍付出初也
 一曰出代曰十二月十日初也
 仍付出初也

此後百有餘年 傳其子孫 治其家業
後世多務 由是具之 以復後之 治其家
一月六日 己未年十二月 廿四日 出書之 仍復後
出右子 物初古 初之 治其家 上史之 治其家
之 治其家

一月七 庚午年六月十日 出書之 治其家
出右子 治其家 治其家 治其家
古初 治其家 治其家 治其家
之 治其家 治其家 治其家
治其家 治其家 治其家 治其家

一月八年八月十日 出書之 治其家
治其家 治其家 治其家 治其家
一月九年十二月 廿四日 出書之 治其家
出書之 治其家 治其家 治其家
一月九年十二月 廿四日 出書之 治其家
治其家 治其家 治其家 治其家

1485

此書之 治其家 治其家 治其家
右之 治其家 治其家 治其家
治其家 治其家 治其家 治其家

文化八年 未年

南末七十 年
無津右 一節

津田右 月夜

由德書 新田伴政 新田伴政

一 忠實之德也 安永元年九月七日

考以及 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

一 仍付新田伴政

文正六年三月三日
初日付
...

...

...

...

...

...

...

...

1477

...

文正六年三月 初日付

...

由法書 二代目 和國 和國 田 田 以 以 以 以 義 義 能 能

一 忠實極也 丙申年正月廿七日

忠用極也 丙申年正月廿七日

一 忠實極也 丙申年正月廿七日

丙申年

一 丙申年九月廿七日

三代目

和國吉代府義舉

一 和國吉代府 丙申年正月廿七日

一 和國吉代府 丙申年正月廿七日

一 和國吉代府 丙申年正月廿七日

一 和國吉代府 丙申年正月廿七日

一 和國吉代府 丙申年正月廿七日

一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...

一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...

一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...

一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...
一 庚戌年十一月廿三日...

1479

一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...

一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...

一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...

一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...

一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...
一 文化元年十一月廿三日...

此代書上卷中...

文苑八種... 和回右月友

深回右月友

1480

由德書... 後叙信...

一忠貫... 辛丑年...

江戶表... 南後...

文人持... 重出...

一右曰... 六月...

二代... 生國...

一右曰... 父信...

秋後... 河內...

信... 前名...

一右曰... 六月...

之月... 父信...

佛元... 比叡...

增年... 在六...

中... 之...

一右曰... 此代...

一右曰... 此代...

由法書 聖朝 和 田仲經廣

一 杉成心友 於江戶一帖之男 言以各都

言江戶不長 由男子之長 亦在江戶

一本 院 亦代 亦之 亦之 亦之 亦之

一 馬代 文 亦之 亦之 亦之 亦之

所 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

仕 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

一 日 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

亦 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

一 日 亦之 亦之 亦之 亦之 亦之

修竹山家以出仕念初科考并延上
主 干時二十五年今以古初考在
右之世山在久以上

文化二年四月

尚末二十四年

和国件

深田古月夜

83

小濱山家以出仕念初科考并延上
書出之介八廿二乙之丙午年五月
写之江户之介之册別之者

大谷山家以出仕

與清平書

夏原七高

石



